



【機密性 2 情報】

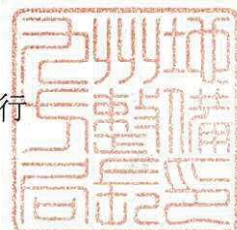
国九整企画第13号

平成30年4月24日

下関市長 前田 晋太郎 様

国土交通省 九州地方整備局長

増田 博行



直轄事業の事業計画等(下関市関連分)について(通知)

平素から国土交通省直轄事業の推進に当たり、御高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、当整備局における平成30年度当初予算に関する地方負担を求める事業計画等のうち、下関市関連分について、別紙のとおりお知らせいたします。

平成30年度当初 下関市における 地方負担を求める事業計画総括表

(単位:千円)

事業区分	負担基本額	地方負担額
河 川 関 係	—	—
道 路 関 係	—	—
公 園 関 係	—	—
港 湾 関 係	1,269,000	447,500
空 港 関 係	—	—
合 計	1,269,000	447,500

※端数処理の関係上、合計と一致しないことがある。

港湾整備事業

（単位：千円）

港名	施設名	事業規模	全体事業費 (億円)	負担基本額						地 方 負担額	事業内容	備考
				内訳								
				工事費	測 量 設計費	用地費及 補償費	船舶及機 械器具費	附 帯 工事費	事 業 車両費			
下関港	～国際物流ターミナル整備事業～											
	新港地区		314									平成30年代後半完成予定 ※完成に向けた円滑な事業 実施環境（注2）が整った 段階で確定予定
	泊地（-12m）	A=265, 000m2		3, 949	5, 964	0	79	0	8	10, 000	4, 500	
	～予防保全事業～											
	西山地区		9									平成30年代前半完成予定 ※完成に向けた円滑な事業 実施環境（注2）が整った 段階で確定予定
	岸壁（-12m）(改良)	L=240m		181, 548	16, 704	0	1, 586	0	162	200, 000	90, 000	
計				185, 497	22, 668	0	1, 665	0	170	210, 000	94, 500	

（注 1） 端数処理の関係で施設毎の合計と合わない場合があります。

（注 2） 「事業実施環境」とは、漁業補償の締結、公有水面埋立免許の取得、用地取得の完了、土砂処分場の確保後等といった、事業を進捗させる上で不可欠な環境のことです。

平成30年度当初 下関港海岸（海岸管理者：下関市）における事業内容等 （海岸関係）

（様式 1）

海岸事業

（単位：千円）

海岸名	施設名	事業規模	全体事業費 (億円)	負担基本額						地 方 負担額	事業内容	備考	
				内訳									
				工事費	測 量 設計費	用地費及 補償費	船舶及機 械器具費	附 帯 工事費	事 業 車両費	計			
下関港海岸	～下関港海岸直轄海岸保全施設整備事業～												
	長府・壇ノ浦地区		182									平成30年代前半完成予定 ※完成に向けた円滑な事業実施環境（注２）が 整った段階で確定予定	
	護岸	L=2, 858m		4, 693	14, 364	0	113	0	0	19, 170	6, 390		調査 1式
	護岸（改良）	L=2, 078m		<660, 000>						<660, 000>	<220, 000>		護岸改良 460m
				664, 914	17, 229	1, 000	57	5, 000	0	688, 200	229, 400		
	山陽地区												
	護岸（改良）	L=6, 257m		177, 141	24, 174	5, 000	112	0	0	206, 427	68, 809		護岸改良 143m
	胸壁	L=1, 560m		6, 589	1, 806	0	14	0	0	8, 409	2, 803		胸壁 140m
	陸閘	N=25基		61, 243	3, 803	0	30	0	0	65, 076	21, 692		陸閘 4基
	水門	N=5基		17, 555	53, 740	0	423	0	0	71, 718	23, 906		調査 1式
	計			<660, 000>						<660, 000>	<220, 000>		
			932, 135	115, 116	6, 000	749	5, 000	0	1, 059, 000	353, 000			

< >書きは平成29年度国債の平成30年度支出分で内数
（注 1） 端数処理の関係で施設毎の合計と合わない場合があります。
（注 2） 「事業実施環境」とは、漁業補償の締結、公有水面埋立免許の取得、用地取得の完了、土砂処分場の確保後等といった、事業を進捗させる上で不可欠な環境のことです。